

ミ
サ
ノ
通
行
加
文
の
例
式
聖
文
の
宣
臨
の
大
祝
日
の
も
の
と
人
半
奏

Marie Stanislas

N

H

K

(20)

ア メン

たまえり たまえり われらの主、キリストによりておかれいたまつる

(入室の儀)(入室神頌)

I - 1

また しさいとともに

主はみかさんとともに いのりまじよ かみよ 主は、さう 聖靈の光ももて
信する者的心を てらしたまえり

- 3

ねがわくは 同じ聖靈をもてわれらに正しキニトモヤラシメ。
また 御預めにありて孝に善いヒミツをしめたまえ。

神の御子 わがまイエズス・キリストよりて 子供を

5

ア メン

聖靈と共に隣りかく支配したも唯一の生ける かみにまします せうにいたすまで

(こそばの登(儀))

II - 1

主はみかさんとともに マルコによるセイふくいんの 33どく

(聖体祭儀)(奉納神頌)

2

主はみかさんとともに 主よ さけられしに しゆして。聖靈の光ももて
また 司祭とともに 供えより聖體となしたまえ われらのへをきよめたまえ 神の御子…

ア メン

主はみかさんとともに また しさいとともに 主をあおき

主はみかさんとともに 二三をたれぬ わがかみかる

さかわしく ただしく

主にかんげくしてりj
Ve-re dignum est

ア X - ン

Per Ipsum per Ipso

3

天にましますわれらのちちよ ねがわくはみかのとおとまれんことを みくにのかたらん
のりをとかえまじyj

ことを みもねりて人にあこかわ33ごとく ちにもあこかわれんことを われらのにちよみりかけても

2 二へいちあめらにあたえたまえ われらがひそにゆるすごとく われらのつみをゆるしたまえ かれらをニニ33410

3

ひきたまわざれ われらをあくよりすくいたまえ

主よ 過去現在未来のすべてのあくよりわれらをすくいたまえ

N

H

K

(20)

神の母・終生処女なる聖マリア 優後聖ペトロ聖ハウロ聖アンドレアおよび諸聖人の取次ぎにあり けんたいにへいめをあたえたまえ

(* ***) この司祭のとかえる部分の伴奏(譜表の下段のみ)はひいてもひからなくてよい。

△ 1

われうかー帝に罪ありのかれすべての國盡はいたるよ; 主のあわれみをもて われらをすまえたり 神の御子 わい主イエス・キリスト

△ 2

ア メン

によりて こめうちとせられ、とともに生き)かくしほいたも、ゆいいつのいふるかみにまします よよにいたるよ

△ 3

またしまへとともに

主のへいあんづねにみがさんとともに

(聖体拝領神頌)

△ 4

△ 5

ア メン

またしまへとともに いのりまじ; まあ 聖堂を生き、われうの心をまよめたり

△ 2

ア メン

またその福音をよいもってわれうの心を実りゆたからしめたまし 神の御子

△ 3

またしまへとともに

ゆきなま、まへいわのうちに

(共同新頌)

△ 4

△ 5

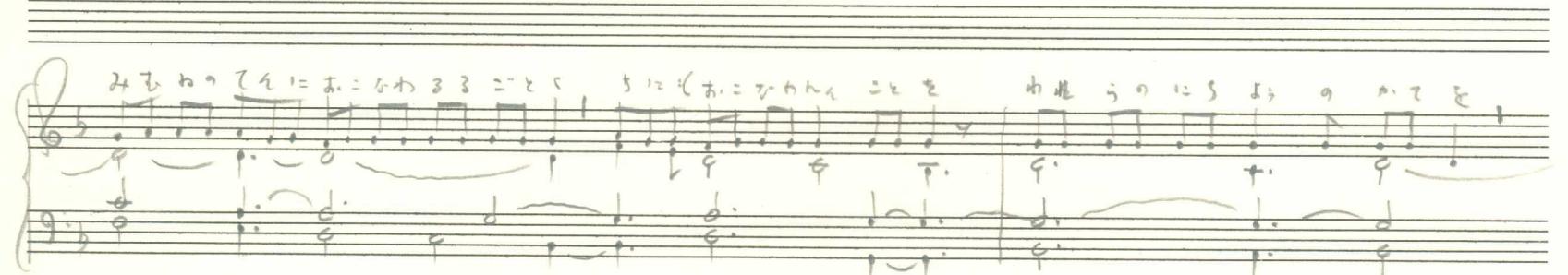
主 われらのいのりをききたまし

預言わくは……こひを 全能永遠なる神よ

天に青し空すかんらうのうよ ねがわくはみかのとすとまれんことを みくにうきらんことを



みもれでくにあにかわるふことを うに(あにかわん)いことを ゆきうのうにうよのうかてを



いのうかんうにあれど大すき われさぬいゆうすきく うじやくをゆうしきく からせんじ



うきちまくごん たへうをまくごり つく・とき



さかんしく たびしく
かく - - - お - お
rit.



N
H
K
(20)

